

ファミリー・サポート・センターは、育児の支援を受けたい人と支援をしてくれる人が会員となり、安心して子育てのできる地域の助け合いを目指した、相互援助の有償ボランティア活動です。お子さんの預かりや送迎の活動を行っています。



活動件数:433件
活動時間:1,022時間

サポートした子どもの人数:147名
(延べ)

サポートを受けた子の年齢(多い順)

- ①:3～6歳(未就学児) 41%
- ②:小学校3年生～4年生 39%
- ③:1～2歳 12%
- ④:小学校1年生～2年生 5%
- ⑤:0歳 3%

依頼日(多い順)

- 平日 91%
土曜日 7%
日曜・祝日等 2%



サポートの内容(ベスト5)

- ①:放課後の学習塾や習い事等までの送迎
- ②:学校、幼稚園、保育所の休みのときの預かり・送迎など
- ③:保育施設から習い事までの送迎
- ④:保護者の就労(短期・臨時・求職活動等)の場合の預かり
- ⑤:放課後児童クラブ終了後の子どもの迎え・預かり

そのほかにも

- ・保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり・送迎
- ・放課後児童クラブ開始前の預かり・送迎
- ・保護者の育児のサポート
- ・買い物等外出の際の子どもの預かり
- などがありました。

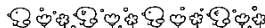


未就学児、小学生ともに習い事の送迎が多かったです。また、未就学児は預かりのサポートも多くありました。

預かり先は援助会員宅のほか、依頼会員宅(保護者が在宅時)、めばえやすくすくにあるつどいの広場でした。

依然、依頼会員さんの人数に対して援助会員さんの人数が少ない状況ではありますが、援助会員さんのご協力のおかげで、R6年度も様々なサポートを行う事が出来ました。

引き続き援助会員さん大募集中です。両方会員の制度もありますので、依頼会員としてサポートをお願いする時であれば、サポートもできる。そんな方の登録もお待ちしております。まずはファミサポまでお問い合わせください。



講習会の報告

普通救命講習Ⅲ R7.5.13

～いざという時の救急対応～

大磯町消防職員

AED(自動体外式除細動器)を用いての心肺蘇生法を学びました。
倒れている幼児を見つけ周囲に協力を求めた後、AEDを用いての心肺蘇生法を行い、到着した救急隊員に引き継ぐまでの一連の流れを実践形式で実施し、緊張感を持ちながら学びました。



小児科医のお話し R7.6.21

～予防接種について～

ひよこクリニック
医師 松田 倫夫氏

ひよこクリニック松田先生から、予防接種についてのお話しのほか、夏に罹りやすい感染症や、流行している感染症についてのお話しを伺いました。その後は質疑応答の時間が設けられ、参加者のみなさんが積極的に質問をされていました。先生はひとつひとつに詳しく答えてくださり、とても良い機会となりました。



今後の講習会

看護師のお話し
～感染症について～

9月11日(木)・めばえ

時間: 10:00～11:30

公認心理士のお話しは
10:00～12:00

保健師のお話し
～乳幼児健診における
子どもの発達について～
9月18日(木)・すくすく

公認心理士のお話し
～傾聴講座～
9月16日(火)又は10月1日(水)
めばえ

保育士のお話し

1月17日(土)・すくすく

多くの援助会員さん
の受講をお待ち
しています!!

交流会のお知らせ

ファミサポわくわく
座談会
&
フラワーアレンジメント
12月8日(月)
《めばえ》にて

援助会員と子育て中のママ・パパとの交流会!
フラワーアレンジメントをしながら、ファミサポのこと、なんでも聞いちゃいましょう!
援助会員の活動にご興味のある方のご参加もお待ちしております!!
※申し込みの詳細は広報11月号に掲載予定です



◆ ファミリー・サポート・センター事務局 ◆

子育て支援センター すくすく内

大磯町大磯387-3

☎ 0463-61-4150

Mail kosodate-c@town.oiso.kanagawa.jp

月曜日～土曜日(祝日は除く)

午前9時～午後5時まで

※入会希望の際は事前にご連絡をお願いします



詳しくは町のホームページをご覧ください